

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		敬老事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸	所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実	所属課	高齢者支援課	担当者名	太田 真由美
	業務分野	25	高齢者の社会参加の促進	所属班	包括支援センター班	(内線)	1164
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
		一般	3	1	4	10436	合志市敬老事業実施補助金交付要綱 合志市百歳の高齢者に対する敬老祝金等贈呈要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	多年にわたり社会の発展に寄与して来られた高齢者を敬愛するための敬老事業を実施する行政区・施設に対して、その経費の一部を補助する。また、百歳表彰及び金婚表彰についても当事業で行う。 【経緯】平成14年度、行政主催の敬老祝賀会(式典方式)から敬老事業を実施する行政区等への補助金交付方式に変更した。※高齢者(参加対象者)が増加したため、弁当等の手配等で混乱を来すようになった。平成19年度、補助金算定単位(人数加算)の対象年齢を70歳以上から75歳以上に上げた。※高齢者(対象者)が多くなったため。平成25年度、百歳敬老祝金贈呈事業及び金婚表彰事業を本事業へ統合。 【補助金の算出】(1)定額補助(1行政区あたり10,000円)と(2)人数加算(75歳以上の高齢者数に1人あたり700円を乗じた額)の合計額。※敬老事業に要した実支出額が少ない場合は、その額。行政区に該当しない施設等については人数加算のみ。
【業務の流れ】	【敬老事業】①住民登録から行政区毎の75歳以上人口を把握 ②区長・施設長に補助金交付申請書を送付 ③申請区に補助金交付決定通知書を送付 ④敬老事業実施後提出された実績報告書を審査 ⑤補助金の支払い 【金婚表彰事業】①当該年度の金婚夫婦該当者を把握するため、広報誌およびホームページで周知し、申込受付。②金婚夫婦表彰伝達式(例年9月)の案内送付、実施 ③伝達式欠席者へ表彰状受け渡し ④伝達式参加者へ記念品の送付 【百歳敬老祝金贈呈事業】①当該年度の百歳高齢者を調査・把握 ②誕生日に訪問し、お祝いメッセージ・祝金の贈呈
【主な予算費目】	報償費、需用費、負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

- ・敬老事業を実施した76区、4施設に補助金を交付し、敬老事業を支援した。
- ・金婚夫婦 99組を表彰した。
- ・満百歳を迎えられる高齢者20人に祝金等を贈呈した。
- ・長寿を祝い労をねぎらうとともに、健康で長生きする意欲の高揚を図った。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

- ・敬老事業実施補助金の交付
- ・金婚夫婦の表彰(熊日共催)
- ・百歳祝金の贈呈(対象者約34人。贈呈：祝い状、表彰状額、祝金10万円)
- ・内閣総理大臣表彰(百歳)の伝達(対象者約34人)

③予算の主な増減の理由

75歳以上の人口増による敬老事業補助金の増

成果指標

ア 敬老事業への参加者数

(単位)

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア 人		8,224	6,192	6,200	5,742	6,000	6,100	6,200	6,200
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	8,951	8,640	10,473	8,918	10,902	11,252	11,602
(A) 事業費計	千円	8,951	8,640	10,473	8,918	10,902	11,252	11,602	11,924

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

高齢者にとって、お住まいの地域で祝福を受けることで、生きがいを感じ、健康長寿の意識向上が図られた。また、地域住民の高齢者に対する敬老意識の向上も図られ、地域の活性化にもつながっている。  
敬老事業の地域における実施体制も定着しており、現行での維持が望ましい。

(4)今後の事業の方向性

- 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)